

■王子駅周辺まちづくりグランドデザイン コンセプト（案）

～考え方～

これからのまちづくりは、人口減少や高齢社会の到来など社会経済環境の変化に伴う多くの行政課題に的確に対応し、最新の技術的知見や民間の知見等も踏まえ、「選択と集中」による「まちづくりの視点」が一層重要になっています。

王子駅周辺は、交通利便性に富み、首都高速道路王子線の完成、石神井川の護岸整備、JR貨物北王子支線の廃線、駅前商業ビル等の建物更新など、まちに変化をもたらす要因が数多くあり、多様な都市機能が共存する地区として発展する可能性を持ち合わせています。まちが変化し、動いているこの機会を捉え、近接する堀船地区周辺の防災性の向上を図り、東京の北の拠点として王子駅周辺のまちづくりを推進します。

王子駅周辺まちづくりグランドデザイン コンセプト（案）

歴史と文化薫る、にぎわいと交流の拠点 王子

歴史や文化、
自然を
感じるまち

災害に強い
まち

歴史と文化薫る、
にぎわいと交流の拠点
王子

にぎわいと
活気
のあるまち

交通拠点機能
の充実したまち

歴史と文化薫る、にぎわいと交流の拠点 王子

歴史や文化、自然を区民が身近に感じ、災害に強い、商業・業務の経済活動、区民の交流の拠点となる王子のまちの形成を目指します。

災害に強いまち

- ・ 溝田橋周辺では平成17年9月、22年7月に、石神井川の溢水による浸水被害を受けており、水害への対策が緊急の課題となっています。
- ・ 新たに改定した「北区地域防災計画」における取組みを着実に推進するとともに、貯水施設の整備検討を東京都に求めていくなど地域の水害対策の推進に取り組みます。
- ・ また堀船地区周辺に広がる木造住宅密集地域では、首都直下地震等の切迫性や東日本大震災の発生を踏まえ、避難経路・緊急車両等の交通確保など災害に強いまちづくりを進めます。

歴史や文化、自然を感じるまち

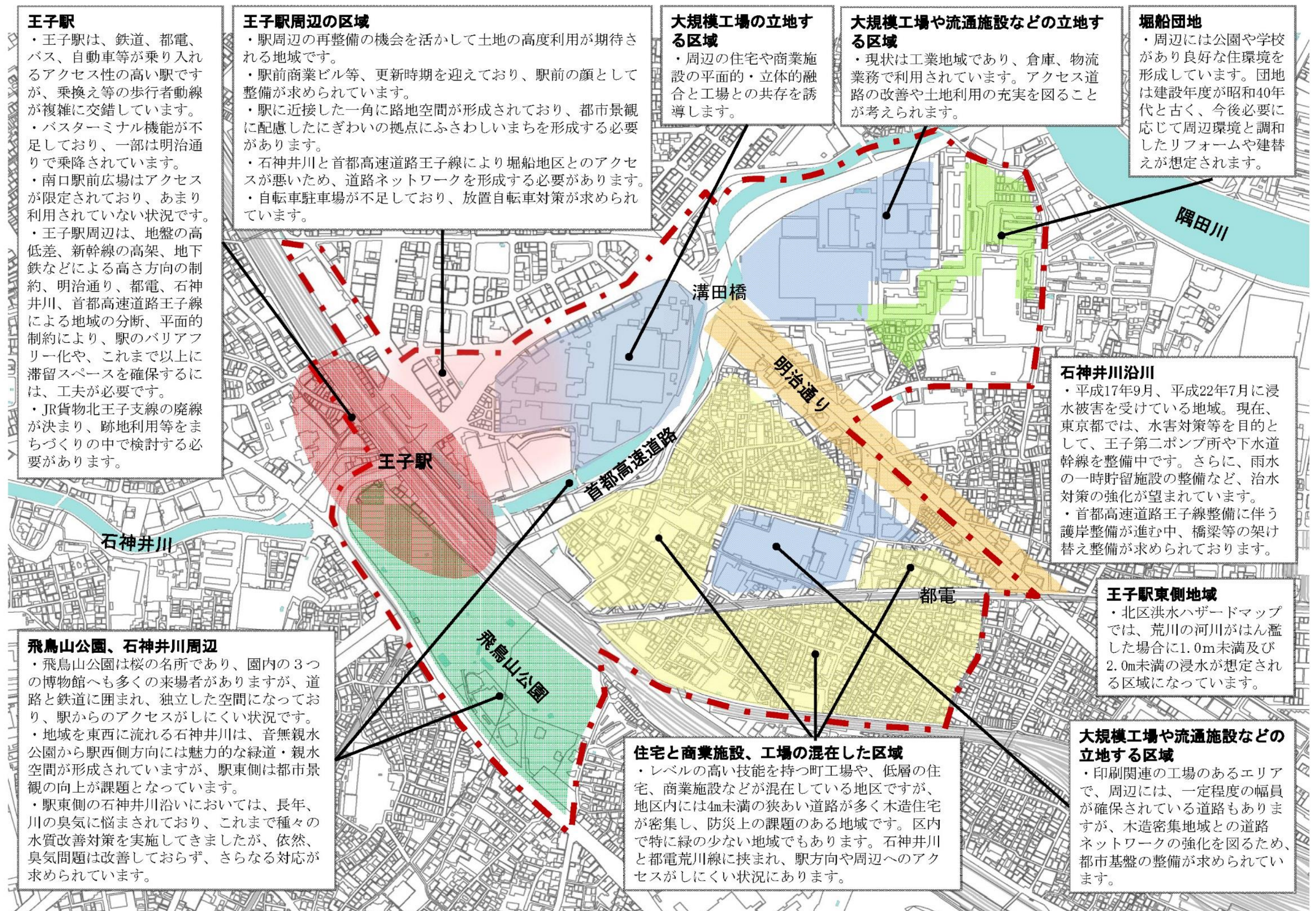
- ・ 江戸時代から桜の花見で賑わう飛鳥山など、古くから王子駅周辺は人々の憩いや行楽の地として親しまれてきました。また、現在も音無親水公園などが整備され、子供たちの水遊びの場やロケ地などとして利用されています。
- ・ 近代は、軍の施設整備、洋紙発祥の地として印刷を中心に工業による都市化が進み、現在も、新しい技術や新製品の開発に取り組む付加価値の高い工場等があります。
- ・ このような現代に続くまちの歴史や文化、自然を、区民が身近に感じ、誇りに思えるまちづくりを進めます。

にぎわいと活気のあるまち

- ・ 駅周辺は、通勤、通学等で混雑していますが、駅周辺の施設の利用や買い物を目的として訪れる人はそれほど多くはありません。
- ・ 北区の顔となる駅前として、それにふさわしい商業の集積や土地利用を誘導し、店舗をはじめ駅周辺の魅力を高め、多くの人が訪れ、集える活気とにぎわいのあるまちの形成を目指します。

交通拠点機能の充実したまち

- ・ 王子駅は、鉄道、都電、バス、自動車、自転車、歩行者などの交通結節点となっていますが、それらが複雑に交錯し、乗換え等が不便な状況も見受けられます。
- ・ 現在の複雑な交通ネットワークを効果的につなぎ、交通拠点機能を強化するとともに、将来的には集約するなど、機能の充実、利便性の向上を図ります。
- ・ また、交通ネットワークを活かし、区内外に立地する大学等の教育機関との連携・協働を推進するなど、産学官の交流拠点の創出を目指します。
- ・ 首都高速道路と高速バスを活用した羽田・成田空港等国際拠点などとのアクセス向上を目指します。



■土地利用及び道路ネットワークの考え方

